

# 2021 第1回 横浜市記録会 競技注意事項

## 1 規 則

本大会は2021年(公財)日本陸上競技連盟規則並びに本大会申し合わせ事項によって実施する。

## 2 練 習

練習は補助競技場で行うこと。フィールド競技の練習は招集完了時刻(競技開始40分前)を過ぎてから、競技場内で行うことができる。特に投てき練習は、役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。 **※競技場周辺での練習は禁止します。**

## 3 競技場

- ①競技場の開門時間は、両日ともに7時30分である。
- ②本競技場は全天候舗装である。トラックの厚さは約13mm、フィールドの厚さは約18mmである。
- ③走路の保全と競技者の安全のために、競技規則143条を参照すること。
- ④競技用シューズについてはWAの新規定を適用する。

## 4 招 集

・招集場所は、スタート地点(フィールド競技は現地)とする。現地の招集終了時間に遅れた者は、欠場とみなし出場を許さない。トラック競技に参加する選手は事前に100mスタート付近スタンド下の招集係へ行き、自分の腰ナンバーカード(自分のレーンナンバー)を受け取り、右腰や後方に安全ピンでとめておくこと。また、男子5000m・男女3000m・男女5000mW・男子3000mSC出場者は特別ナンバーカードも受け取り、胸と背に安全ピンでとめておくこと。安全ピン12本を各自必ず用意すること。

## 5 アスリートビブス(ナンバーカード)

- ①アスリートビブス(ナンバーカード)は、本部にて配付する。各所属ごとに競技開始前までに受け取りに来ること。
- ②アスリートビブス(ナンバーカード)は、2枚をユニホームの胸と背に結着すること。ただし跳躍種目は1枚を胸または背に結着するだけでもよい。主催者が配付した状態で使用し、切ったり折ったりしないこと。  
※トラック種目は、招集場所で渡されるレーンナンバーカードを右腰に結着すること。今回はフィニッシュ後、係に返却しない。  
※男女3000m、男子5000m、男女5000mW、男子3000mSCについては、招集場所で特別ナンバーカードを配付するので、これを結着すること。今回はフィニッシュ後、係に返却しない。

## 6 トラック競技について

- ①トラック競技は、すべて電気計時とする。トラック競技のスタートは1回目の不正スタートで失格とする。  
※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられる事がある。  
※イエローカード(以後、YCと称す)に関して、当大会では国内ルールを適用し、以下の様に運用する。  
(ア)第162条5の規定により(a)(b)(c)いずれかの行為を行った時、YCを提示し警告を与える。この場合他種目との合算はなく、種目ごとに累積し、種目ごとにリセットする。  
(イ)同一種目で2回のYCを受けた競技者は、当該種目を失格とする。但し、それ以後の他の種目の出場は可能である。YCの累積は、該当種目のみに適用する。
- ②トラック競技の組走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選しプログラムに示す。
- ③800mについては、100mまでのセパレートスタートを採用する。
- ④男女3000m、男子5000mは段差スタートとする。

## 7 リレー競技について

- ①リレー競技に出場するチームは、リレーオーダー用紙を作成し競技開始1時間前までに招集所に提出すること。  
(リレーオーダー用紙はプログラムにあるものを使用すること。)
- ②リレー競技においては、チームの出場者は同一ユニホームを着用すること。
- ③4×100mRでは1人1ヶ所に限りマーカーを使用することができる。

## 8 フィールド競技について

- ①バーの上げ方は、各審判主任が指示します。各種目最終点呼時に確認すること。
- ②フィールド種目(走高跳・棒高跳を除く)はトップ8決定後、さらに3回の試技を行う。
- ③走幅跳・三段跳のピットはトラック側をAピットとする。トップ8はABそのままに使用する。

## 9 記 録

各種目の競技結果は、アナウンスのほか100mスタート後方の掲示板に掲示する。

## 10 用 具

競技に使用する用器具は、主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、棒高跳用ポール、砲丸、円盤、やり、ハンマーについては検査を受け承認されたものに限り個人所有のものを使用できる。(検査は、各種目競技開始1時間前までに用器具庫前にて行う。)

※検査と招集とは違うものなので混同しないように注意すること。

## 11 抗 議

競技規則146条によって行う。

## 12 その他

- ① 参加各校の顧問は、必ず競技役員または補助役員を行ってください。
- ② 8時30分までに参加各学校から2名以上の補助員を出し、本部前に集合させてください。
- ③ プログラムにミスがある場合には本部庶務まですみやかに届け出てください。
- ④ 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、その後の責任は負いません。なお、参加者は健康保険証を持参してください。
- ⑤ 本競技場メインスタンドでのテントの張り出しは禁止します。
- ⑥ メインスタンド最前列への部旗、横断幕等の張り出しは禁止します。
- ⑦ 競技運営に支障をきたす応援はつつしんでください。(特にフィールド競技中のグループ応援等)
- ⑧ 競技場内での付添い及び応援は一切禁止します。
- ⑨ 更衣室は更衣のみに使用し、シート等を敷くことを禁止します。※ レストハウスは一般の方々も使用します。
- ⑩ 競技運営上、著しく遅れた選手に対して競技を中止させる場合があります。
- ⑪ ビデオ装置、レコーダー、ラジオ、CD、トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技区域内で所持または使用することは助力とみなされ許可しない。(競技規則第144条3 b)
- ⑫ 競技場内に商品名、会社名のついた物を持ち込むことは、アマチュア資格に抵触するのでつつしんでください。
- ⑬ 競技終了後、自席を清掃してください。なお、ゴミ用のビニール袋が必要な場合は本部まで取りに来てください。
- ⑭ 貴重品は各自で保管し、紛失には十分注意してください。
- ⑮ 各校補助員以外の生徒も積極的に準備、後片付けに参加協力してください。
- ⑯ 本部裏の通路、及びゴール付近1・2番倉庫前は通行の妨げになるのでシートやマット等で占有しないでください。
- ⑰ ゴミについては各自持ち帰りを原則とします。
- ⑱ 三ツ沢公園では競技場外にテントシート等で占有スペースを設置しないこと。

### ☆感染症対策について

横浜市陸上競技協会ホームページを確認のうえ「参加状況報告書」を必ず提出してください。

### ☆学校受付について

各参加校の引率顧問の先生方は大会当日8:00~8:20の間に本部審判受付にて学校受付を行ってください。

※顧問の引率がない場合は、高体連試合参加規定の通り選手の出場は認められません。

### ☆安全対策について

- ・ 競技会に参加の競技役員、選手、補助員以外はトラック、フィールドに立ち入らないこと。
- ・ 本競技場、サブトラックでは決められたレーンを守り常に安全確認を怠らないこと。
- ・ ※1, 2, 3レーンは周回練習に使用し5, 6, 7, 8レーンはスプリント練習等で使用する予定である。(ただし状況によって変更を指示する。)
- ・ 周囲の安全を確認し、審判員・顧問の指示に従い事故防止を何よりも優先すること。
- ・ トラック、フィールドともに横断する際には周囲の安全確認を行うこと。
- ・ 跳躍競技での「後追い助走」は危険防止のため禁止とする。
- ・ ウォーミングアップの際、事故防止の為に、必要な声の掛け合いを行うこと。
- ・ 物を持った状態で空ターンの助走練習は禁止。公式練習以外は行わないこと。
- ・ 投てき物(やり等)の回収の際も周囲の安全に十分に配慮すること。
- ・ チューブ、メディシンボール等を使用しての練習は安全面から行わないこと。

### ☆貴重品の管理について

- ・ 大会開催中の盗難被害が多発しています。貴重品の管理については各校で対応をお願い致します。

# 《重要》

神奈川県高等学校体育連盟 陸上競技専門部  
競技会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策と対応について  
参加校(顧問・生徒)が事前に確認して対応や準備をしていただきたいこと

## 確認してほしいこと

- 1 (公財)日本陸上競技連盟が発信した『陸上競技活動再開のガイダンス』(日本陸連のHP上に掲載されています。)を確認してください。  
特に練習や事前準備については『日常活動について』の内容を参考にして取り組んでください。
- 2 保護者・OBなどの応援者の来場はできません(無観客試合)。  
そのことを関係者に周知してください。
- 3 競技場へ来場できる部員は出場する選手に加え、大会補助員2名、付き添い生徒2名程度とします。(学校の待機場所(貴重品等)を管理するための付き添い。)  
感染症拡大防止のため最小限の人数となるよう工夫してください。  
また、集合時間や解散時間をできる限りずらすなどの工夫もしてください。
- 4 つぎに示す方法で、事前の体調管理をしてください。その結果、問題のないことが確認できた生徒について競技会への参加を認めることとします。  
関係する人々全員の生命にかかわることですので、厳密に対応してください。  
また、顧問の判断に関わらず、体調に不安のある生徒を確認した場合は、主催者が帰宅を命ずる場合もあります。

①顧問は生徒に競技会1週間前からの体調管理を義務付ける。

(『【別紙1】大会前:新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート』を生徒に配付し、記入の指示をする。)

また『【別紙2】生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書』を配付する。

②顧問は大会当日、記入済みの『【別紙2】生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書』を生徒から回収し、内容を確認し(保護者印など)、保管をする。体調につきの点や、その他不安のある生徒がいた場合は、大会参加や競技場滞在を認めず、家庭と連携を取り帰宅させること。

[参加や競技場滞在を認めないケース]

- ・大会当日を含み、大会1週間前から37.5度以上の発熱がある。
- ・【別紙1】にチェックした項目が1つ以上ある。
- ・【別紙2】にチェックがない項目がある。
- ・その他、顧問が体調不良を理由に判断した場合。

③上記②のケースが発生した場合、大会本部に速やかに報告をする。

④生徒から回収した【別紙2】の結果、問題がないことが確認できたら、【別紙3】を大会本部へ提出する。

⑤【別紙1～3】は高体連ホームページからダウンロードできます。

#### 用意してほしいこと

- 1 各校待機場所で手・手指の消毒をする消毒液を、各学校で準備してください。  
また、器具を使う種目(投てきなど)に参加する選手もできる限り自分で消毒液を用意してください。  
投てき物は自校のものを持ち込むことを推奨します。
- 2 器具を使う種目(投てきなど)で使用する滑り止め(炭酸マグネシウム等)は、共有のものを個別に配付をしますが、できる限り自分専用の滑り止めを用意してください。
- 3 自分専用のごみ袋を持参してください。ゴミは持ち帰りとします。特に体液の付着したゴミは袋に入れて処理するなど注意を払ってください。

## 当日に実行してほしいこと

- 1 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する行動をとってください。  
そのために、競技役員の手指示に従ってください。また自分でも感染症予防に努め、適切な判断をして行動してください。
- 2 感染症対策に取り組んでください。
  - ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保ってください。
  - ・競技中不用意に手で顔を触らないよう気を付けてください。  
また、終了後の手洗い・洗顔を徹底してください。
  - ・全員がマスクを着用し、咳エチケットを遵守する。ただし、競技中や熱中症対策として息苦しさを感じた場合はマスクを外し、無理をしないでください。
  - ・競技者にはレース(試技)中のマスク着用は義務づけませんが、招集中、移動中、待機中などは熱中症に気を付けながらマスクを着用してください。
  - ・競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するようにしてください。
- 3 招集はつぎのとおりとします。
  - (1)参加校は、当日欠場する生徒を事前に把握できている場合、競技会開始の1時間前までにその旨を招集所に報告してください。
  - (2)決められた時間(プログラムに記載)に競技場所へ集合し、現地でチェックを受けてください。  
決められた時間に競技場所にいない競技者は当該競技種目を欠場したものと処理します。
  - (3)リレーはプログラム記載の時間までにオーダー用紙を競技者係へ提出してください。  
それ以降は(2)のとおり、各競技場所でチェックを受けてください。
  - (4)特別ナンバー、腰ナンバーは所定の場所に用意します。各自競技場所へ移動する前に準備をしておいてください。
- 4 ウォーミングアップは個別に行ってください。(集団で行わない。)
- 5 声を出しての応援、集団応援はしないでください。
- 6 テントやスタンド等、各校待機場所ではソーシャルディスタンスを保てるよう、各校で工夫をしたり、競技役員の手指示に従ってください。
- 7 更衣室の利用は更衣のみとします。区画されたスペースを一人で使用してください。  
スペースがすべて使用中の場合は部屋の外で待機し、空きを待って使用してください。  
更衣が終わった者は速やかに退出し、待機者と交替するようにしてください。

### 【大会前／提出用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート（第2版8月11日改訂）

本チェックシートは各種大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、来場可否の判断および必要なご連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

●個人情報の取得・利用・提供に同意する

※大会1週間前から記入し、大会当日、主催者の指示に従い指定の場所に提出すること

※該当しない場合は✓を入れ、該当する場合は○を記入すること（体温0.1℃単位の数字を記入）

No.	チェックリスト	/	/	/	/	/	/	/	/
1	のどの痛みがある								
2	咳（せき）が出る								
3	痰（たん）がでたり、からんだりする								
4	鼻水（はなみず）、鼻づまりがある ※アレルギーを除く								
5	頭が痛い								
6	体のだるさなどがある								
7	発熱の症状がある								
8	息苦しさがある								
9	味覚異常(味がしない)								
10	嗅覚異常(匂いがしない)								
11	体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
12	薬剤の服用(解熱剤を含む上記症状を緩和させる薬剤)								

氏名 \_\_\_\_\_

所属（学校名など） \_\_\_\_\_

※参加者が未成年の場合

連絡先（電話番号） \_\_\_\_\_

保護者氏名 \_\_\_\_\_

## 生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書

このチェックシートは神奈川県高等学校体育連盟（以下、高体連という。）が開催する代替大会や各種大会、各種事業等において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報については、参加校が、適切に取り扱い、大会参加者の健康状態の把握、来場可否の判断及び必要な連絡のためにのみ利用します。

また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染者患者またはその疑いのある方が発見された場合には、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

◎ 基本情報			
フリガナ 氏名	年齢 ( )	学校名 (所属)	
住所		電話番号 (大会参加者が未成年の場合は、保護者の電話番号)	
参加当日の体温			
		度	分
◎ 大会前 2 週間前から当日の朝までにおける健康状態			
※該当するものに「✓」を記入してください。			
ア	平熱を超える発熱（おおむね 37.5 度以上）がない。	オ	同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない。
イ	咳（せき）、のどの痛みなどの風邪症状がない。	カ	新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない。
ウ	だるさ、疲れやすい（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない。	キ	クラスター発生施設への滞在歴がない。
エ	嗅覚や味覚の異常がない。	ク	政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がない。
(大会参加者が未成年の場合) 保護者 確認欄			
保護者氏名		印	

※ 本健康チェックシートは、参加校が少なくとも 30 日以上保管し、期日経過後は各学校において、責任を持って適切に廃棄処分する。

令和 年 月 日

陸上競技専門部長 様

## 参加状況報告書

「生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書（別紙2）」の結果、参加生徒の健康状況は良好であるため、次の大会・事業等に参加いたします。

また、参加顧問等の健康状況も良好であることを確認しました。

参加大会名（事業名） \_\_\_\_\_

開催日 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日（ ） \_\_\_\_\_

参加生徒数 \_\_\_\_\_ 名 顧問数 \_\_\_\_\_ 名

以上報告いたします。

学校名 \_\_\_\_\_

顧問名（自署） \_\_\_\_\_

**神奈川県高等学校体育連盟 陸上競技専門部**  
**競技会開催に伴う新型コロナウイルス感染防止対策と対応について**

**競技会参加にむけての各校の対応について**

(公財)日本陸上競技連盟が発信した『陸上競技活動再開のガイダンス』に示されている『日常活動について』に従い、顧問の指導のもと、競技会参加に向けての準備に取り組んでください。

『陸上競技活動再開のガイダンス』は(公財)日本陸上競技連盟のホームページ上に掲載されています。

**感染リスクを軽減させた競技会の運営について**

**【競技会開催の前提条件】**

- 1 「緊急事態宣言」、「神奈川警戒アラート」が発令されていない。
- 2 学校において部活動が認められている。
- 3 競技会開催を管轄する自治体からイベントの開催が認められている。
- 4 医療機関に新型コロナウイルス感染症患者受け入れ対応の余裕がある状態である。
- 5 競技会に関わる全ての人(審判員・競技者・顧問など)の健康状態の管理体制を整える。
- 6 「陸上競技活動再開のガイダンス(日本陸連発信)」の「競技会開催について」と、ここに示す内容に沿った競技会運営をする。

**【競技会開催にあたっての基本注意事項】**

- 1 3密(密閉空間・密集場所・密接場面)を回避する。
- 2 感染症対策に取り組む。
  - ・こまめに手洗いまたは手指の消毒を行い、手を清潔に保つ。
  - ・マスクを着用し、咳エチケットを遵守する。ただし、競技中や熱中症対策として息苦しさを感じた場合はマスクを外し、無理をしないこと。
- 3 主催者としてつぎのことに取り組む。
  - ・競技会開催地および医療機関の協力を得る。
  - ・3密を解消する工夫を徹底する。
  - ・多くの人が頻繁に触れる箇所を清掃・消毒し、環境を清潔に保つ。

- 4 競技会に関わる全ての人(審判員・競技者・部員・顧問など)がすべきこと。
- ・発熱等、体調不良者は来場せず自宅で静養する。
  - ・3密を避けて行動することを徹底する。
  - ・体調管理を徹底する。
  - ・競技会終了後、2週間以内に発熱などの症状があった場合には最寄りの保健所に相談し、指示を受ける。受診や検査を勧められた場合は速やかに受診し、大会主催者に必ず報告すること。

## 【競技会開催にあたって取り組むこと】

### 1 主催者の取り組み

- (1)大会開催2週間前までに県陸協へ『競技会開催の基本情報と前提条件の確認【提出用チェックリスト】』を提出する。
- (2)各所に消毒に有効な薬剤を配置する。
- (3)医務員用の手袋・フェイスガード、給水用の手袋を用意する。
- (4)医務室に体温計を用意し、必要とされる場合に備える。
- (5)対面した対応をする場所にシールドを設置する。  
(役員受付・プログラム販売所・撮影許可証配付所・競技者係等)
- (6)招集時間の細分化をする。
- (7)フィールド競技等の選手待機場所を拡大する。
- (8)更衣室に2m四方の区分けをして一人当たりのスペースを確保する。
- (9)顧問からの報告の有無にかかわらず、体調不良と大会本部で判断した生徒を帰宅させる。
- (10)競技会場への、応援のための保護者やOBなどの来場は感染予防のため禁止とする。

### 2 競技役員の取り組み

- (1)3密(密閉・密集・密接)を回避する。
  - ア) ソーシャルディスタンス(約2m)を確保する。
    - ・控室では机を使用せず、最小限の椅子の利用でソーシャルディスタンスを確保する。
    - ・密が発生しないよう競技者をコントロールする。(特にフィールドの待機選手、招集に並ぶ選手。)  
(マーシャル・練習場係・フィールド審判員・出発係・競技者係)
  - ・フィールド競技の競技場内練習は、一人ずつの呼び出しを行い、準備している選手の間隔確保を監視する。  
(フィールド審判員・マーシャル)
  - ・競技結果や番組編成等は電光掲示とアナウンスを活用するとともに、紙媒体の掲示場所を増設し密を避ける。  
(記録情報係・大型映像・アナウンサー)

- イ) 開・閉会式や種目表彰は実施しない。  
(表彰係・総務・総務員・アナウンサー)
- ウ) 室内の換気を行う。
- (2) 会場でコロナウイルス対策を積極的にアナウンスする。  
(総務・総務員・アナウンサー、大型映像)
- (3) 使用場所や使用器具等の消毒・清掃を行う。
- (4) マスクの着用、眼からの飛沫感染を防ぐための眼鏡またはサングラス、使い捨ての手袋などを準備する。
- (5) 競技者との接触を減らす工夫をする。
- (6) 発熱者がでた場合は、関係機関へ相談をし、顧問・保護者と連携をとり、速やかに帰宅させる等の対応をする。  
(医務員・総務・総務員)
- (7) 基礎疾患を持っている競技役員は委嘱を辞退する。

### 3 各学校(顧問、生徒)の取り組み

- (1) 三密を避ける、ソーシャルディスタンスを保つような行動を徹底する。
  - ア) テントで待機する人数を少なくし、人との距離を2m程度保つよう工夫する。
  - イ) スタンド利用時は椅子を一つおきに使用するなどし、密集をさける。
  - ウ) 施設内のシャワーの使用は禁止する。
  - エ) 更衣室の利用は更衣のみとし、区画されたスペースを一人で使用する。スペースがすべて使用中の場合は部屋の外で待機し、空きを待って使用する。更衣が終わった者は速やかに退出し、待機者と交替すること。
  - オ) ウォーミングアップは個別に行う。(集団で行わない。)
- (2) 集合時間をできる限りずらすなどの工夫をする。
- (3) 運動時や体調不良時(熱中症など)を除き、マスクの着用を義務とする。  
競技者にはレース(試技)中のマスク着用を義務づけない。招集中、移動中、待機中は熱中症に気を付けながらマスクを着用することとする。
- (4) 手洗い・手指の消毒、洗顔を徹底する。(競技用具使用后など)
- (5) 各校待機場所で自校の生徒が手・手指の消毒を行うための消毒液を用意すること。
- (6) ゴミは持ち帰りとする。特に体液の付着したゴミは袋に入れて処理するなど注意を払う。
- (7) 保護者、OB などの応援者の来場ができないことを関係者に周知する。競技場へ来場できる部員は出場する選手に加え、大会補助員2名、付き添い生徒2名程度とする。感染症拡大防止のため最小限の人数となるよう工夫する。
- (8) 声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- (9) 競技場、補助競技場などのウォーミングアップ場へは選手と補助員生徒以外は立ち入らない。

(10) 体調管理を万全にする。

生徒の競技会参加については、つぎの手順により健康状態に問題がないことを把握したうえで認める。

ア) 顧問は生徒に競技会1週間前からの体調管理を義務付ける。

(『【別紙1】大会前:新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート』を生徒に配付し、記入の指示をする。)

また『【別紙2】生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書』を配付する。

イ) 顧問は大会当日、記入済みの『【別紙2】生徒の健康状況チェックシート及び参加確認書』を生徒から回収し、内容を確認し(保護者印など)、保管をする。体調につぎの点や、その他不安のある生徒がいた場合は、大会参加や競技場滞在を認めず、家庭と連携を取り帰宅させること。

[参加や競技場滞在を認めないケース]

- ・大会当日を含み、大会1週間前から37.5度以上の発熱がある。
- ・【別紙1】にチェックした項目が1つ以上ある。
- ・【別紙2】にチェックがない項目がある。
- ・その他、顧問が体調不良を理由に判断した場合。

ウ) 上記イ)のケースが発生した場合、大会本部に速やかに報告をする。

エ) 生徒から回収した【別紙2】の結果、問題がないことが確認できたら、【別紙3】を大会本部へ提出する。

オ) 【別紙1～3】は高体連ホームページからダウンロードできます。

(11) 競技会終了後の体調管理を行う。

ア) 顧問は日本陸連のHPから『【大会後/個人管理用】新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート』をダウンロードし生徒に配付し、記入の指示をする。

イ) 生徒はシートのチェックに該当する症状が出た場合、あるいは体調に不安を感じた場合は、保健所に相談するとともに顧問に報告をする。

ウ) 顧問は、生徒から上記イ)について報告を受けたら速やかに高体連陸上競技専門部委員長へ報告をする。

## 【競技会での対応】

### 1 招集

(1) 参加校は、当日欠場する生徒を事前に把握できている場合、競技会開始の1時間前までにその旨を招集所に報告する。

(2) 決められた時間(プログラムに記載)に競技場所へ集合し、現地でチェックを受ける。決められた時間に競技場所にいない競技者は当該競技種目を欠場したものと処理する。

- (3)リレーについてはプログラム記載の時間までにオーダー用紙を競技者係へ提出する。それ以降は(2)のとおり、各競技場所でチェックを受ける。
- (4)特別ナンバー、腰ナンバーは所定の場所に用意する。各自競技場所へ移動する前に準備をしておくこと。

## 2 トラック

- (1)2～3組ずつスタート地点に誘導し、待機場所にゆとりを持たせる。
- (2)フィニッシュ後に留まることを短時間とする。
- (3)レース後の導線案内
  - ・倒れた選手には防護体制(マスク・手袋・フェイスシールド)をした医務員が対応する。
  - ・マーシャル等により、レース後、手洗いや洗顔ができる場所へ案内する。
- (4)給水について
  - ・スポンジは使用しない。
  - ・使用したカップは使い捨てとする。選手にカップを渡す際は手袋を着用する。

## 3 フィールド

- (1)待機場所における競技者同士のソーシャルディスタンスを確保し、競技役員の指示に従う。
- (2)試技の前後に手指の消毒を行う。可能な限り各校で消毒液を用意する。
- (3)競技中不用意に手で顔を触らないこと。
- (4)終了後の手洗い、洗顔を徹底する。
- (5)消毒、手洗いを徹底できる前提であれば、器具の共用は可能である。
- (6)投てき物は自校のものを持ち込むことを推奨する。
- (7)滑り止め(炭酸マグネシウムなど)はできる限り個人のを準備し使用する。共用のものを  
使用する場合は、競技役員がカップを用いて小分けして配付することとする。
- (8)競技者同士の会話は極力避け、待機中はマスクを着用するようにする。

## 4 混成競技

- (1)混成競技者控室を設けない。定められた時間(プログラムに記載)に現地に集合し、競技役員の指示に従うこと。

### 【メディア・取材への対応】

- 1 メディア、取材については事前に申請のあったものに限定し、最小限の人数で対応するよう協力を依頼する。
- 2 取材者には感染症拡大防止対策の基本事項を遵守させ、生徒との接触は最小限とするよう協力を依頼する。